

2023年11月15日

格付投資情報センター（R&I）は以下の格付を公表しました。

## MUFG各社の発行体格付を格上げ

発行者	証券コード	発行体格付		短期格付	
		変更	格付	格付	格付
三菱UFJフィナンシャル・グループ	8306	変更	A+ [ポジティブ] → AA- [安定的]	—	—
三菱UFJ銀行	—	変更	AA- [ポジティブ] → AA [安定的]	維持	a-1+
三菱UFJ信託銀行	—	変更	AA- [ポジティブ] → AA [安定的]	維持	a-1+
三菱UFJ証券ホールディングス	—	変更	AA- [ポジティブ] → AA [安定的]	維持	a-1+
三菱UFJモルガン・スタンレー証券	—	変更	AA- [ポジティブ] → AA [安定的]	維持	a-1+
auカブコム証券	—	変更	AA- [ポジティブ] → AA [安定的]	新規	a-1+
三菱UFJニコス	—	変更	AA- [ポジティブ] → AA [安定的]	維持	a-1+

### 【格付理由】

商業銀行業務中心に世界最大級の規模を持ち、日本の3大金融グループの中でトップにある。ROEやRORA（リスクアセット対比の収益性）を中心に据えた採算管理や業績評価体制が浸透、顧客部門を中心に利益が増加している。強固な営業基盤の活用やコスト構造改革の進展が支えとなり、収益力が改善していることを評価し、グループ全体の信用力をAA-からAAに変更、各社の発行体格付を引き上げた。

銀行事業の営業基盤は極めて強い。信託や証券、アセットマネジメント、カード、消費者金融、リース（持分法適用関連会社）などでも市場地位が高く、事業の多様化が進展している。海外ではアジアの経済成長を取り込む商業銀行プラットフォームを備えている。2022年に米MUFG Union Bankのリテールおよびコマース・バンキング事業を譲渡後、米州では強みを生かせる法人取引に特化している。

戦略的資本提携している米Morgan Stanleyと共同運営する日本の証券・投資銀行業務ではクロスボーダーM&A（合併・買収）などで高い市場地位にある。同社の持分法投資利益の貢献は大きく、3大金融グループにおける差別化要因となっている。外国為替業務や機関投資家向け日本株ビジネスなど、連携領域をさらに拡大していく。

事業ポートフォリオは商業銀行業務主体で安定している。リスクアペタイト・フレームワークに基づきリスク選好度を設定、適切に運営している。リスク耐久力はAAゾーンを満たす。継続的な株式リスクの削減、金利リスクの抑制的な運営がリスク耐久力の確保に寄与している。引当方針は厳格で、資産の質は健全だ。個人預金基盤が極めて強く、流動性は十分に備えている。外貨の流動性にも大きな懸念はない。

#### ○三菱UFJフィナンシャル・グループ

グループの持株会社。格付は持株会社固有の構造的劣後性などを反映し、グループ信用力の1ノッチ下になっている。

#### ○三菱UFJ銀行

グループの中核を担う銀行。グループの顧客基盤や収益、リスクの大部分を占める。格付はグループ信用力と同じになっている。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

## ○三菱UFJ信託銀行

グループの信託ビジネスを担う銀行。グループとの一体性を踏まえ、格付はグループ信用力と同じにしている。信託関連ビジネスで強固な営業基盤を持つ。法人貸出等業務を三菱UFJ銀行へ移管してからは信託機能を活用したビジネスに注力している。

## ○三菱UFJ証券ホールディングス

グループの証券事業を統括する中間持株会社。グループとの一体性や、持株会社単体の収支・財務構造を踏まえ、格付はグループ信用力と同じにしている。

## ○三菱UFJモルガン・スタンレー証券

Morgan Stanleyと共同で出資するグループの証券会社。グループとの一体性を踏まえ、格付はグループ信用力と同じにしている。ホールセールは債券の引受・トレーディング業務に加え、Morgan Stanleyとの協業によるクロスボーダーM&Aのアドバイザー業務などに強みを持つ。リスク特性に見合った管理態勢の整備や、安定した収益基盤の構築に向けた取り組みを見守る。

## ○auカブコム証券

KDDIと共同で出資するグループのオンライン証券会社。グループとの一体性を踏まえ、格付はグループ信用力と同じにしている。大手オンライン証券5社の一角を占める。MUFGやKDDIの顧客基盤を活用するための態勢整備が課題だ。収益は信用取引に伴う金融収益や株式売買に伴う委託手数料が多くを占める。コア顧客に付加価値を高めて取引深耕・定着度を高めることができるかが今後の収益力の安定性の鍵を握ろう。

## ○三菱UFJニコス

グループのクレジットカード会社。グループとの一体性を踏まえ、格付はグループ信用力と同じにしている。MUFGカード・DC・NICOSのブランドを抱え、国内トップクラスのカード会員数や加盟店契約保有数、取扱高を有する。ブランドごとにシステムが併存し、コスト構造に課題があることなどから、2030年までのシステム統合計画に取り組んでいる。システム統合が完了するまでは統合費用の負担が続き、収益力は低い水準にとどまる見通し。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

**三菱UFJフィナンシャル・グループ**（証券コード：8306）**【変更】**

発行体格付：A+ [ポジティブ] → AA- [安定的]  
期限付劣後債格付：A+ → AA-  
永久劣後債格付：A- → A  
TLAC債等格付：A+ → AA-  
MTNプログラム格付（期限付劣後債）：A+ → AA-  
MTNプログラム格付（TLAC債等）：A+ → AA-

**三菱UFJ銀行**（証券コード：-）**【変更】**

発行体格付：AA- [ポジティブ] → AA [安定的]  
期限付劣後債格付：A+ → AA-  
MTNプログラム格付：AA- → AA

**【維持】**

短期債務格付：a-1+

**三菱UFJ信託銀行**（証券コード：-）**【変更】**

発行体格付：AA- [ポジティブ] → AA [安定的]

**【維持】**

短期債務格付：a-1+

**三菱UFJ証券ホールディングス**（証券コード：-）**【変更】**

発行体格付：AA- [ポジティブ] → AA [安定的]  
MTNプログラム格付：AA- → AA  
MTNプログラム格付（期限付劣後債）：A+ → AA-

**【維持】**

CP格付：a-1+

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

## 三菱UFJモルガン・スタンレー証券（証券コード：－）

## 【変更】

発行体格付： AA- [ポジティブ] → AA [安定的]

## 【維持】

CP格付： a-1+

## MUFG Securities EMEA plc（証券コード：－）

## 【変更】

MTNプログラム格付： AA- → AA

MTNプログラム格付（期限付劣後債）： A+ → AA-

## auカブコム証券（証券コード：－）

## 【変更】

発行体格付： AA- [ポジティブ] → AA [安定的]

## 【新規】

短期債務格付： a-1+

## 三菱UFJニコス（証券コード：－）

## 【変更】

発行体格付： AA- [ポジティブ] → AA [安定的]

## 【維持】

CP格付： a-1+

## 【格付対象】

発行者：三菱UFJフィナンシャル・グループ

## 【変更】

名称	格付	格付の方向性		
発行体格付	AA-	安定的		
名称	発行額	発行日	償還日	格付
第1回無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	400億円	2014年6月26日	2024年6月26日	AA-
第3回無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	230億円	2015年3月5日	2025年3月5日	AA-
第5回無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	300億円	2015年6月18日	2025年6月18日	AA-
第7回無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	150億円	2015年6月18日	2030年6月18日	AA-

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

第10回無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	350億円	2016年4月28日	2026年4月28日	AA-
第11回無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	1,060億円	2016年7月29日	2026年7月29日	AA-
第13回無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	500億円	2017年3月2日	2027年7月26日	AA-
第15回無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	640億円	2017年9月15日	2028年1月12日	AA-
第17回無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	400億円	2018年5月31日	2028年5月31日	AA-
第20回無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	440億円	2019年9月20日	2030年1月15日	AA-
第21回期限前償還条項付無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	1,560億円	2019年9月20日	2030年1月15日	AA-
第22回無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	220億円	2019年12月12日	2029年12月12日	AA-
第23回期限前償還条項付無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	280億円	2019年12月12日	2029年12月12日	AA-
第24回無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	340億円	2020年5月29日	2030年5月29日	AA-
第25回期限前償還条項付無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	280億円	2020年5月29日	2030年5月29日	AA-
第26回無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)(サステナビリティボンド)	540億円	2020年9月30日	2031年1月31日	AA-
第27回期限前償還条項付無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)(サステナビリティボンド)	960億円	2020年9月30日	2031年1月31日	AA-
第28回期限前償還条項付無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	200億円	2021年6月1日	2031年5月30日	AA-
第29回期限前償還条項付無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	1,300億円	2021年7月30日	2031年7月30日	AA-
第30回無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	730億円	2022年7月29日	2032年7月29日	AA-
第31回期限前償還条項付無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	1,840億円	2022年7月29日	2032年7月29日	AA-
第32回無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	240億円	2023年2月1日	2033年7月28日	AA-
第33回期限前償還条項付無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	1,760億円	2023年2月1日	2033年7月28日	AA-
第34回無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	640億円	2023年9月19日	2034年1月19日	AA-
第35回期限前償還条項付無担保社債(実質破綻時免除特約および劣後特約付)	1,460億円	2023年9月19日	2034年1月19日	AA-
第12回任意償還条項付無担保永久社債(債務免除特約および劣後特約付)	230億円	2020年10月19日	—	A
第13回任意償還条項付無担保永久社債(債務免除特約および劣後特約付)	370億円	2020年10月19日	—	A
第14回任意償還条項付無担保永久社債(債務免除特約および劣後特約付)	400億円	2021年10月15日	—	A
第15回任意償還条項付無担保永久社債(債務免除特約および劣後特約付)	500億円	2022年9月2日	—	A
第16回任意償還条項付無担保永久社債(債務免除特約および劣後特約付)	400億円	2022年9月2日	—	A
第17回任意償還条項付無担保永久社債(債務免除特約および劣後特約付)	1,920億円	2023年6月2日	—	A

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

第18回任意償還条項付無担保永久社債(債務免除特約および劣後特約付)	1,380億円	2023年6月2日	—	A
第19回任意償還条項付無担保永久社債(債務免除特約および劣後特約付)	720億円	2023年10月16日	—	A
第20回任意償還条項付無担保永久社債(債務免除特約および劣後特約付)	710億円	2023年10月16日	—	A
第1回米ドル建無担保社債(担保提供制限等財務上特約無・指定金融機関等限定)(グリーンボンド)	1.2億米ドル	2018年12月18日	2028年12月18日	AA-
第2回米ドル建無担保社債(担保提供制限等財務上特約無・指定金融機関等限定)(ソーシャルボンド)	0.9億米ドル	2019年12月12日	2029年12月12日	AA-
第1回期限前償還条項付無担保社債(担保提供制限等財務上特約無)	250億円	2021年11月4日	2025年11月4日	AA-
第2回期限前償還条項付無担保社債(担保提供制限等財務上特約無)	460億円	2021年11月4日	2027年11月4日	AA-
第3回期限前償還条項付無担保社債(担保提供制限等財務上特約無)	290億円	2021年11月4日	2032年11月4日	AA-
第5回期限前償還条項付無担保社債(担保提供制限等財務上特約無)	260億円	2022年6月9日	2026年6月9日	AA-
第6回期限前償還条項付無担保社債(担保提供制限等財務上特約無)	270億円	2022年6月9日	2028年6月9日	AA-
第7回期限前償還条項付無担保社債(担保提供制限等財務上特約無)	300億円	2022年6月9日	2033年6月9日	AA-
第8回期限前償還条項付無担保社債(担保提供制限等財務上特約無)	1,095億円	2023年3月7日	2025年3月7日	AA-
第9回期限前償還条項付無担保社債(担保提供制限等財務上特約無)	495億円	2023年3月7日	2027年3月5日	AA-
第10回期限前償還条項付無担保社債(担保提供制限等財務上特約無)	460億円	2023年3月7日	2029年3月7日	AA-
第11回期限前償還条項付無担保社債(担保提供制限等財務上特約無)	275億円	2023年3月7日	2034年3月7日	AA-
第12回期限前償還条項付無担保社債(担保提供制限等財務上特約無)	2,400億円	2023年6月9日	2025年6月9日	AA-
名称	発行限度額		格付	
共同MTNプログラム(無担保社債 B3T2債)*	500億米ドル(*総額)		AA-	
共同MTNプログラム(無担保社債 TLAC債)*	500億米ドル(*総額)		AA-	

発行者：三菱UFJ銀行

【変更】

名称	格付	格付の方向性		
発行体格付	AA	安定的		
名称	発行額	発行日	償還日	格付
第23回無担保社債(劣後特約付)	300億円	2009年10月16日	2029年10月16日	AA-
第24回無担保社債(劣後特約付)	250億円	2010年9月27日	2030年9月27日	AA-
第26回無担保社債(劣後特約付)	420億円	2010年11月12日	2025年11月12日	AA-
第27回無担保社債(劣後特約付)	230億円	2010年11月12日	2030年11月12日	AA-
第29回無担保社債(劣後特約付)	200億円	2011年1月20日	2026年1月20日	AA-
第30回無担保社債(劣後特約付)	160億円	2011年1月20日	2031年1月20日	AA-
第33回無担保社債(劣後特約付)	200億円	2011年6月9日	2026年6月9日	AA-
名称	発行限度額		格付	
共同MTNプログラム(シニア債)*	500億米ドル(*総額)		AA	

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

## 【維持】

名称	格付
短期債務	a-1+

発行者：三菱UFJ信託銀行

## 【変更】

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	AA	安定的

## 【維持】

名称	格付
短期債務	a-1+

発行者：三菱UFJ証券ホールディングス

## 【変更】

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	AA	安定的
名称	発行限度額	格付
ユーロMTNプログラム(シニア債)*	150億米ドル(*総額)	AA
ユーロMTNプログラム(期限付劣後債)*	150億米ドル(*総額)	AA-

## 【維持】

名称	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	5,000億円	a-1+

発行者：三菱UFJモルガン・スタンレー証券

## 【変更】

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	AA	安定的

## 【維持】

名称	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	9,000億円	a-1+

発行者：MUFG Securities EMEA plc

## 【変更】

名称	発行限度額	格付
ユーロMTNプログラム(シニア債)(三菱UFJフィナンシャル・グループ、三菱UFJ銀行キープウェル契約)*	80億米ドル(*総額)	AA
ユーロMTNプログラム(期限付劣後債)(三菱UFJフィナンシャル・グループ、三菱UFJ銀行キープウェル契約)*	80億米ドル(*総額)	AA-

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

発行者：a u カブコム証券

【変更】

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	AA	安定的

【新規】

名称	格付
短期債務	a-1+

発行者：三菱UFJニコス

【変更】

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	AA	安定的

【維持】

名称	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	6,000億円	a-1+

☆MTNプログラムに対する信用格付はプログラムを対象としており、プログラムのもとで発行する個々の債券に対する信用格付ではありません。個々の債券の信用格付は通常、同プログラムの信用格付と同一ですが、クレジットリンク債、インデックスリンク債など個々の債券の契約内容によっては、同一とならない、あるいは格付しないことがあります。R&Iは依頼に応じて、個々の債券にも信用格付を付与することがあります。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。



## 信用格付に関わる事項

格付関係者	三菱UFJフィナンシャル・グループ
主任格付アナリスト	松島 賢宗
信用格付を付与した日	2023年11月15日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2021/06/01]、金融機関等に共通する格付の考え方 [2023/03/24]、預金取扱金融機関 [2022/04/04]、証券会社 [2023/07/13]、クレジットカード・信販 [2022/09/26]、消費者金融 [2023/08/28]、持株会社の格付の考え方 [2022/03/08]、規制資本商品等と金融機関等の格付の考え方 [2022/12/07]
情報提供者	格付関係者

格付関係者	三菱UFJ銀行
主任格付アナリスト	松島 賢宗
信用格付を付与した日	2023年11月15日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2021/06/01]、金融機関等に共通する格付の考え方 [2023/03/24]、預金取扱金融機関 [2022/04/04]、グループ企業の格付の考え方 [2022/03/08]、規制資本商品等と金融機関等の格付の考え方 [2022/12/07]
情報提供者	格付関係者

格付関係者	三菱UFJ信託銀行
主任格付アナリスト	松島 賢宗
信用格付を付与した日	2023年11月15日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2021/06/01]、金融機関等に共通する格付の考え方 [2023/03/24]、預金取扱金融機関 [2022/04/04]、グループ企業の格付の考え方 [2022/03/08]
情報提供者	格付関係者

格付関係者	三菱UFJ証券ホールディングス
主任格付アナリスト	佐藤 祐太
信用格付を付与した日	2023年11月15日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2021/06/01]、金融機関等に共通する格付の考え方 [2023/03/24]、証券会社 [2023/07/13]、持株会社の格付の考え方 [2022/03/08]、グループ企業の格付の考え方 [2022/03/08]、規制資本商品等と金融機関等の格付の考え方 [2022/12/07]
情報提供者	格付関係者

格付関係者	三菱UFJモルガン・スタンレー証券
主任格付アナリスト	佐藤 祐太
信用格付を付与した日	2023年11月15日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2021/06/01]、金融機関等に共通する格付の考え方 [2023/03/24]、証券会社 [2023/07/13]、グループ企業の格付の考え方 [2022/03/08]
情報提供者	格付関係者

格付関係者	MUFG Securities EMEA plc
主任格付アナリスト	佐藤 祐太
信用格付を付与した日	2023年11月15日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2021/06/01]、金融機関等に共通する格付の考え方 [2023/03/24]、グループ企業の格付の考え方 [2022/03/08]、規制資本商品等と金融機関等の格付の考え方 [2022/12/07]
情報提供者	格付関係者

格付関係者	auカブコム証券
-------	----------

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧下さい。

主任格付アナリスト	村田 理恵
信用格付を付与した日	2023年11月15日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2021/06/01]、金融機関等に共通する格付の考え方 [2023/03/24]、証券会社 [2023/07/13]、グループ企業の格付の考え方 [2022/03/08]
情報提供者	格付関係者

格付関係者	三菱UFJニコス
主任格付アナリスト	肝付 卓也
信用格付を付与した日	2023年11月15日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2021/06/01]、金融機関等に共通する格付の考え方 [2023/03/24]、クレジットカード・信販 [2022/09/26]、グループ企業の格付の考え方 [2022/03/08]
情報提供者	格付関係者

利用した主要な情報	決算書類、開示情報、格付関係者から入手した情報等
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。格付アナリストが妥当性を判断した情報であること。
格付方法の概要	次のウェブサイト上記格付方法及び考慮した他の格付方法をともに掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html</a>
評価の前提	次のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html</a>
格付符号と定義	次のウェブサイトに掲載しています。 <a href="https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html">https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html</a>

#### 信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を取り下げることがあります。

利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。

一般に投資に当たって信用格付に過度に依存することが金融システムの混乱を引き起こす要因となり得ることが知られています。

信用格付の付与について代表して責任を有する者	丸山 博哉
信用格付業者登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室（広報担当） TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っており、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。